

〔変わりゆく時代、移ろいゆく「美」。〕

# 八雲塗

暮らしを飾る松江の漆器



主催 松江歴史館  
会場 松江歴史館企画展示室  
開館時間 8時30分～18時30分  
(観覧受付は18時まで)  
休館日 5月16日(木)  
観覧料 大人500円  
小・中学生250円  
※基本展示室とのセット券は大人800円  
小・中学生400円  
※20名以上は団体料金(2割引)  
※松江市内の高校・大学・専門学校に通う学生は  
学生証の提示で企画展示(または基本展示とのセット  
券)が団体料金となります。  
後援 島根県、島根県教育委員会、山陰中央新報社、朝日  
新聞松江総局、産経新聞松江支局、日本経済新聞社松江  
支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、島根  
日日新聞社、新日本新聞社、共同通信松江支局、時事通信  
社松江支局、NHK松江放送局、T・S・R山陰中央テレビ、BBS  
山陰放送、日本テレビ、山陰ケーブルビジョン、エフエム山陰

2019  
4/19(金)～6/9(日)



*Matsue-made urushiware that colors your life*

# 八雲塗

暮らしを飾る松江の漆器

YAKUMO NURI

Matsuo-made, urushiware that colors your life

## Chapter 1 [明治20年頃]

### 八雲塗のはじまり

八雲塗は唐物漆器を参考にして製作が始まったと伝わります。唐物漆器を意識した、現代の八雲塗に通ずる技法で仕上げられています。



①



②

## Chapter 2 [明治中期]

### 坂田平一の仕事

明治21年以降、唐物の様子を残りつつ「平一」の印を入れ「八雲塗」として製作されていきます。



③



④

## Chapter 3 [明治後期〜大正]

### 優雅な花鳥文様

色鮮やかな漆が開発され、花鳥文など優雅な文様も描かれるようになりました。



⑤



⑦



⑥



⑧

## Chapter 4 [昭和〜近年]

### 多彩に描く

八雲塗の代名詞とも言える「牡丹」を描いた作品が多く製作されるとともに、多彩な図を描くなどこれまでにない創意工夫が見られます。



⑨



⑩

- ①鶴丸馬文盆 (手銭記念館蔵)
- ②山水図角切膳 (島根県立美術館蔵)
- ③桐鳳凰文会席膳 (個人蔵)
- ④花籠図菓子皿 (個人蔵)
- ⑤秋草図台付重箱 (松江歴史館蔵)
- ⑥竹林賢人図丸盆 (個人蔵)
- ⑦蝶文会席膳 (個人蔵)
- ⑧花鳥図絵替会席膳 (松江歴史館蔵)
- ⑨牡丹文菓子器 (手銭記念館蔵)
- ⑩牛童子図硯箱 (松江歴史館蔵)

## Information

### 《関連イベント》

学芸員によるギャラリートーク

日程 4月19日(金) ※オープニングセレモニー9時終了後  
4月28日(日)、5月4日(土)、6月2日(日)  
時間 14時〜14時30分(4月19日以外)

講演会「八雲塗のこれから」

日時 5月12日(日) 14時〜15時30分  
講師 山本一成氏(山本漆器店代表取締役)  
会場 松江歴史館 歴史の指南所  
定員 60名・要申込(要企画展示観覧券又は年間パスポート)

### アクセス

- 市内交通バス
  - ◎ぐるっと松江レイクライン  
JR松江駅より13分「大手前堀川遊覧船乗場・歴史館前」下車徒歩3分
  - ◎一般路線バス  
JR松江駅より9分「県民会館前」下車徒歩5分  
JR松江駅より15分「塩見縄手」下車徒歩1分
  - ◎山陰道(松江西ICから県庁・松江城方面10分)
  - ◎松江歴史館専用駐車場あり(徒歩1分、10台、無料)
  - ◎当館敷地内に身障者専用駐車場あり
- 自動車



松江歴史館

〒690-0887 島根県松江市殿町279番地  
TEL:0852-32-1607 FAX:0852-32-1611  
http://www.matsu-reki.jp